

## 令和 8 年度福岡県剣道選手権大会 第 74 回全日本剣道選手権大会県予選会

についてお知らせ致します。

参加ご希望の方は実施要項をご確認の上、期日までのお申込み願います。

1. 期日  
令和 8 年 6 月 2 1 日 (日)  
受付時間 午前 8 時 30 分～9 時 00 分 (厳守)  
開 会 式 午前 10 時
2. 会場  
福岡武道館  
〒812-0045 福岡市博多区東公園 8 番 3 号 Tel 092-712-1890
3. 申込方法  
早良区剣連で一括して県連に申し込みます。
4. 早良区締切 **令和 8 年 5 月 14 日(木)締切厳守**  
**(別紙の県連締切とは異なるの間違えないでください)**
5. 早良区申込先 下記、メールに申し込んでください。  
早良区剣道連盟メール：[sawara.kenren@gmail.com](mailto:sawara.kenren@gmail.com)
6. 申込要件
  - ①別紙申込用紙に、氏名、職業、年齢、生年月日、段位、連絡先を明記してください。
  - ②参加者 1 名につき 2500 円(参加料:2000 円+手数料：500 円)を下記口座に振り込んで下さい。
7. 払込先  
ゆうちょ銀行 01700-1-153429  
福岡市早良区剣道連盟 (フクオカシサワラクケンドウレンメイ)  
※ 他金融機関から振込まれる際は次の内容をご指定ください。  
【店名】一七九 (イチナナキュウ)  
【店番】179 【預金種目】当座 【口座番号】0153429
8. 問合せ先 [電子メール sawara.kenren@gmail.com](mailto:sawara.kenren@gmail.com)
9. 実施要項 次ページ以降参照のこと

令和 8 年度福岡県剣道選手権大会  
第 74 回全日本剣道選手権大会県予選会  
実施要項 (HP用)

1. 日 時 令和 8 年 6 月 21 日(日)  
受付時間 午前 8 時 30 分～9 時 00 分  
開 会 式 午前 10 時
2. 会 場 福岡武道館  
〒812-0045 福岡市博多区東公園 8 番 3 号 Tel 092-712-1890
3. 大会内容  
(1) 出場資格  
①年齢は、満 20 歳以上とし、段位の制限はしない。(年齢計算は、令和 8 年 11 月 2 日を基準とし、平成 18 年 11 月 2 日以前に生まれた者)  
②五段以上は本連盟の登録会員であること。四段以下は地域剣道連盟に所属していること。  
③全日本剣道選手権大会予選会への出場は、一都道府県大会のみとすること。  
他都道府県の予選会に出場するなど違反した者は、出場を取り消します。  
(2) 令和 8 年 11 月 3 日 (火・祝) 実施予定の全日本剣道選手権大会出場者は、上位 3 名とする。
4. 注意事項  
(1) 使用する竹刀は、全剣連の「竹刀の基準」を遵守すること。  
**※大会当日、竹刀の計量、測定を実施いたします。**(場所は、2F エントランス)  
(2) 選手は、大会当日、「剣道用具確認証」を竹刀計量時に提出すること。  
(3) 紅白目印 (長さ 70 c m ・ 幅 5 c m) を持参すること。  
(4) 竹刀計量・検査時間を遵守すること (9:30 終了予定)
5. 参 加 料 出場者 1 名につき 2,000 円  
**※申込後(入金後)の参加料は返金いたしません。**
6. 申込方法 所定の申込書により選手の方々は、各地域剣道連盟に申し込みください。  
各地域剣道連盟は一括して参加料とともに公社) 福岡県剣道連盟に申し込み  
下さい。 **E-mail : jigyo1890@fukuoka-kendo.com**  
注 : 申込書の職業欄には、企業名、大学名、警察官、刑務官等と明記のこと。
7. 申込締切 **各地域剣道連盟の定める日。福岡県剣道連盟の締切は令和 8 年 5 月 22 日(金)必着。**
8. 申 込 先 各地域剣道連盟
9. 試合・審判および試合方法  
(1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染  
拡大予防ガイドライン (新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・  
審判方法) に記載の試合方法による。  
(2) 試合はトーナメント方式により、優勝・準優勝・第 3 位・第 4 位を決定する。

- (3) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行ない、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り、勝敗が決するまで継続する。

10. 剣道用具の取り扱いについて

(1) 竹刀については次の事項を遵守すること。また大会当日に、計量・検査を必ず受けること。

- 竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ(先革先端対辺直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値)は、表1、表2および図のとおりとする。
- ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。

(2) 小手については次の事項を遵守すること。

- 小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手指部および小指ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
- 小指ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小指ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。

(3) 面については次の事項を遵守すること。

- 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

(4) 剣道着については次の事項を遵守すること。

- 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

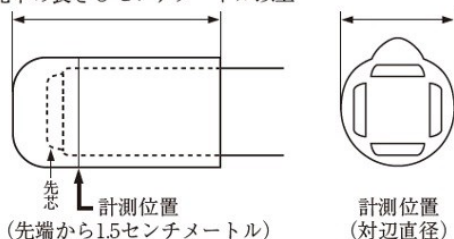
長さ (全長)	重さ	太さ	
		先端部最小直径	ちくとう最小直径
120センチメートル以下	510グラム以上	26ミリメートル以上	21ミリメートル以上

表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ

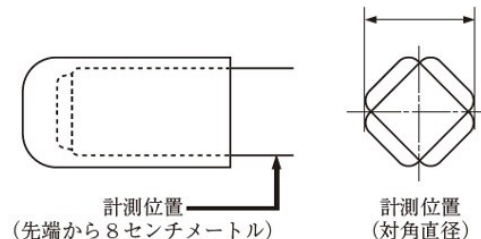
	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	280~300グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



11. 優勝者には優勝杯と賞状を授与し、準優勝・3位については賞状及びトロフィーを授与

する。なお、4位については賞状（敢闘賞）を授与する。

## 12. 安全対策

出場選手は、各自十分健康管理に留意し本大会に参加すること。

また、出場選手は健康保険証を持参のこと。

主催者において、大会実施中、傷害発生の場合は、看護師により応急措置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は自己負担とする。

なお、主催者は、大会中の選手の事故に対し、傷害保険に加入する。対人稽古に関する感染予防ガイドラインにかかわらず、面マスクの着用は個人の判断に委ねる。**ただし、面マスクを着用しない場合は、口の部分を覆うシールドを着用すること。**

## 13. 個人情報保護法への対応

**※以下を申込者に周知してください。**

参加者の個人情報（漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は福岡県剣道連盟および地域剣道連盟が行事運営のために利用する。なお、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせた公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣脈等）に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

以上

6月21日（日）令和8年度福岡県剣道選手権、第74回全日本剣道選手権大会県予選会

選手申込

氏名	氏名（よみがな）	所属地域剣連名	職業	段位	予選会当日連絡がとれる携帯番号

※企業名、学校名、警察官、刑務官等

※企業名は短縮形があればお願いします。

審判主任	検査所責任者

## 剣道用具確認証

大会会長 殿

本大会の出場にあたり、使用する用具について、「剣道試合・審判規則」および「大会要項」に即し、下記項目の確認いたしました。

日 付： 年 月 日

剣道連盟

選手氏名： \_\_\_\_\_ 印

### 記

1) 竹刀関連：検査本数：合計 \_\_\_\_\_ 本（大会検査所提出本数）→合格 \_\_\_\_\_ 本

竹刀の長さ（全長）が適正

竹刀の重さが適正

竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正

先から8センチメートル部分のちくとうの太さ（対角）が適正

先端部をちくとうの最も細い部分とし、先端から物打に向かってちくとうが太くなっている

先革の長さが適正

中結の位置（＝全長の約1/4）が適正

各ピース（竹）の間の隙間がない

破損・ささくれはない

不当な付属品を使用していない

安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない

2) 小手関連

こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部））の1/2以上を保護している

小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ぶとん部最長部と最短部の差が2.5センチメートル以内である

小手頭部・小手ぶとん部の十分な衝撃緩衝能力がある

3) 面関連

肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている

面ぶとんの十分な衝撃緩衝能力がある

4) 剣道着関連

袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

以上